

令和6年度「とちぎっ子学習状況調査」の結果概要について

宇都宮市立陽東小学校

家庭や地域から「信頼される学校」であるためには、学校の状況や児童の実態を保護者や地域の方々に十分御理解いただく必要があります。その上で、家庭や地域と一体となって児童を育てることが大切であると考えています。

こうした考えから、令和6年度「とちぎっ子学習状況調査」における本校児童の学力や学習状況の概要について、以下のとおり公表します。

また、調査結果は、学習指導の工夫・改善に役立てることが大切ですので、調査結果の分析、指導の改善策などを併せて掲載します。

【調査の概要】

1 目的

本県児童生徒の学力や学習の状況等を把握・分析し、児童生徒一人一人の課題を明確にするとともに、各学校が組織的に学習指導における検証改善サイクルの構築・運用に取り組むことにより、本県児童生徒の学力向上に資する。

2 調査期日

令和6年4月18日(木)

3 調査対象

小学校 第4学年、第5学年（国語、算数、理科、質問調査）

中学校 第2学年（国語、社会、数学、理科、英語、質問調査）

4 本校の実施状況

第4学年	国語	74人	算数	75人	理科	75人
第5学年	国語	60人	算数	60人	理科	60人

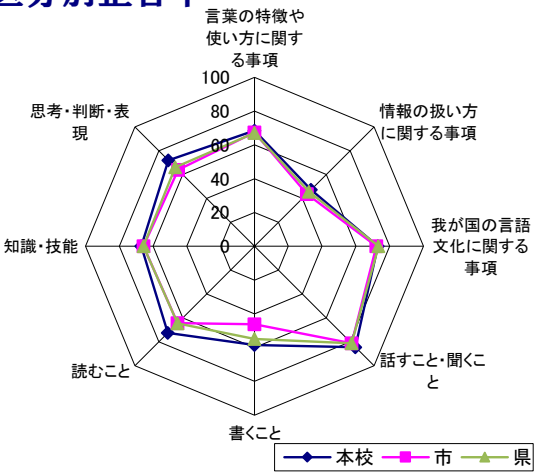
5 留意事項

- (1) 本調査は、対象となる学年、実施教科が限られていることや、必ずしも学習指導要領全体を網羅するものでないことなどから、本調査の結果については、児童が身に付けるべき学力の特定の一部であることに留意することが必要となる。
- (2) 本校の傾向等を分かりやすく示すために分類・区分別の平均正答率などを公表した。
- (3) 平均正答率の数値は調査結果のすべてを表すものではないため、「本年度の状況」、「今後の指導の重点」などの分析を併せて記載した。

宇都宮市立陽東小学校 第4学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方にに関する事項	68.5	67.4	67.1
	情報の扱い方にに関する事項	47.3	43.8	45.7
	我が国の言語文化にに関する事項	73.0	72.1	73.4
	話すこと・聞くこと	84.5	81.2	81.2
	書くこと	58.5	46.2	54.9
	読むこと	72.6	64.3	64.5
観点	知識・技能	67.0	65.7	65.7
	思考・判断・表現	72.0	64.0	66.3



★指導の工夫と改善

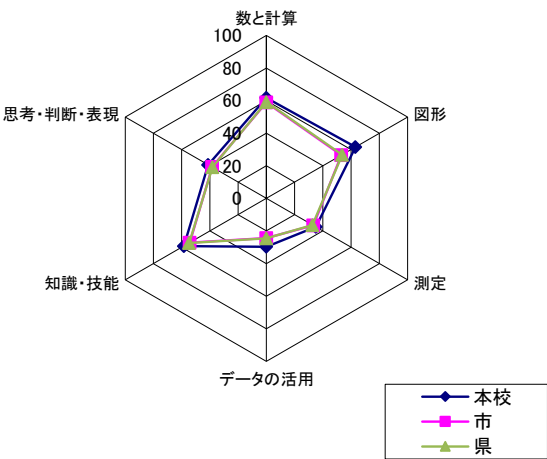
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方にに関する事項	○平均正答率は、県・市の正答率と同程度である。 ○主語と述語の正しい組み合わせを選ぶ問題では、県よりも8.2ポイント、市よりも11.3ポイント高かった。 ●既習漢字を正しく読む問題では、全て県・市の正答率を上回っているものの、書く問題では県・市を10ポイント以上下回る問題があるなど、課題が見られた。	・国語の授業中だけに限らず、普段から既習漢字を意識的に使用するよう、指導を継続する。
情報の扱い方にに関する事項	○平均正答率は、県・市の正答率と同程度である。	・学校図書館と連携し、児童一人一人が国語辞典や漢字辞典を継続的に使用できる経験を増やしていく。また、語句調べの際には、単に意味を羅列するのではなく、文脈にあった意味を選択できるように指導していく。
我が国の言語文化にに関する事項	○平均正答率は、県・市の正答率と同程度である。 ○漢字のへんとつくりを正しく組み合わせて既習漢字をつくることができた児童が多かった。	・漢字を指導する際には、読みと書きだけでなく、部首や成り立ちなどについても扱ったり、漢字辞典や漢字ドリルを使って調べたりする活動を今後も継続していく。
話すこと・聞くこと	○平均正答率は、県・市の正答率を3.3ポイント上回っている。 ○自分の考えと理由を話す問題では、89.2%の児童が相手に伝わるようにまとめることができた。 ●参加者の発言を基に、考えをまとめる問題では、県・市の正答率を若干下回った。	・考えをまとめる際には、理由を付けて話すことを繰り返し経験させていく。 ・友達の話を最後まで聞いたり、友達の発言をつないで話したりすることができるよう、児童の発言や発表に対する意図的な問い返しの場を増やしていく。
書くこと	○平均正答率は、県・市の正答率を12.3ポイント上回っている。 ○2段落構成や字数制限、意見と理由を取り入れて書くという複数の条件がある中で、正答率がいずれも市より10ポイント以上、県よりも3ポイント以上上回っている。 ●50%以上の児童が2段落構成での書き方ができていなかった。	・主語や述語、接続詞を大切にする指導を続け、自分の考えを友達に分かりやすく記述させるような学習活動を行っていく。その際、意見や理由を段落に分けさせるようにし、構成を意識できるようにしたい。
読むこと	○平均正答率は、県・市の正答率を8ポイント以上上回っている。 ○物語文・説明文ともに、叙述を基に文章の内容を捉え中心となる語や文を見付けて要約することが、県・市の正答率を10ポイント以上上回った。	・中心となる語や文に線を引きながら読んだり、繰り返し出てくる語を言い換えたりすることを今後も継続して学習を進めていく。

宇都宮市立陽東小学校 第4学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	61.7	58.9	59.2
	図形	63.1	53.0	53.7
	測定	35.0	33.1	32.6
	データの活用	29.7	24.4	24.6
観点	知識・技能	58.5	54.3	54.7
	思考・判断・表現	41.3	38.5	38.3



★指導の工夫と改善

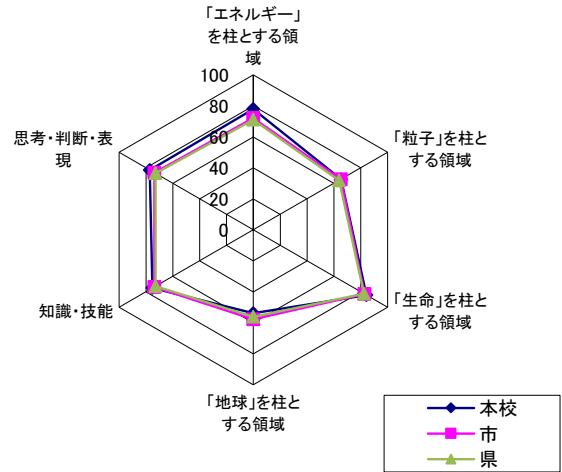
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は、県・市の平均を2～3ポイント程度上回っている。 ○大きな数の表し方や構成を理解しているかを問う問題では、市の平均を12.1ポイント上回っている。 ○小数を、整数と同じ数直線の中に位置づけて考えることができるかを問う問題では、県の平均を13.4ポイント上回っている。 ●無回答率は、県・市の平均と比べてほとんどの問題で高い。 ●数直線で目盛りがあらわす数の大きさを分数で答える問題の正答率は、県の平均を5ポイント下回っている。	・かけ算の定着が十分ではない児童に対して、九九の補充学習や、定着度チェックテストを行い、今後の複雑な四則演算でのつまずきを軽減する。 ・少人数指導などで算数が苦手な児童に対する個別対応の充実を図る。 ・ただ計算ができるだけでなく、どうしてそのような思考に至ったのか説明する機会を意識的に設けることで、知識・技能がより深まるよう働きかける。
図形	○平均正答率は、県・市の平均を9～10ポイント上回っている。 ○球の半径を利用して長さを求める問題では、市の平均を13.4ポイント上回っている。 ○●円の性質を利用して正三角形を作図する問題では、市の平均を13.1ポイント上回っているが、無回答の児童は県よりもやや多い。	・作図などの技能を問う問題での学力差が見られたので、全員が十分に習熟しているかを机間指導等で確かめながら、丁寧に授業を展開していく。 ・今後、段階的に手順を踏んで思考していく問題が増えてくるので、話し合い活動等を通して、どうしてそうなるのかを説明できるようにする。
測定	○平均正答率は、県・市の平均をやや上回っている。 ○時間と時刻を理解し、時間を求めることができるかどうかをみる問題では、県の平均を6ポイント上回っている。 ●地図から道のりを読み取り、2つの道のりの差を求める問題では、市の平均を1.5ポイント下回っている。	・距離や長さ、重さなどの単位の感覚が身に付くよう、実生活と結びつけた例示をするよう心掛ける。 ・無回答が多く目立ったので、問題に対する答え方の指導や、説明する際の書き方などを授業の中で適宜指導していく。
データの活用	○平均正答率は、県・市の平均を約5ポイント上回っている。 ○適切な棒グラフから、示された値を読み取ることができるかを問う問題では、県・市の平均を13ポイント程度上回っている。 ●棒グラフの特徴と利点を理解し、身の回りの事象について活用する記述式の問題では、正答率が10.7%と低く、無回答率は50.7%であった。	・データの読み取りについて、気付いたことを周りの友達と共有する際に、相手に伝わるような言葉で伝えることを意識させることで、論理的な説明ができるよう促す。 ・他教科でグラフが出てくるのがこれから増えてくるので、データの読み取りについて関連付けながら指導をしていく。

宇都宮市立陽東小学校 第4学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	77.9	72.1	71.0
	「粒子」を柱とする領域	65.3	65.2	63.9
	「生命」を柱とする領域	84.2	82.8	82.4
	「地球」を柱とする領域	53.8	57.7	56.2
観点	知識・技能	75.1	73.8	72.8
	思考・判断・表現	77.2	73.7	72.8



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	○平均正答率は、ほとんどの問題で県の平均を上回っている。 ○光の性質の問題では、日光を集めたときの明るさと温かさについて適切な図を選ぶ問題で、県の平均を13.1ポイント上回っている。 ○電気のはたらきの問題では、実験の結果から回路の見えない部分について推測する問題で、県の平均を13.9ポイント上回っている。 ●音の大小と震え方の違いについて正しい言葉の組み合わせを選ぶ問題で、県の平均を4.7ポイント下回っている。	・実際に実験をすることで子供たちの理解が深まるので、どの実験においても課題意識をしっかりとめ、振り返りやまとめ等に丁寧に取り組ませることで、実体験を通して一人一人の理解につなげていきたい。
「粒子」を柱とする領域	○平均正答率は、県や市とほぼ同程度である。 ○物の重さと体積の問題では、物の形を変えても重さは変わらないことについて答える問題の正答率が90.7%で、県の平均を4ポイント上回っている。 ●同じ体積でも、ものの種類によって重さが違うことについて表と関連付けて考えることができるかどうかを問う問題で、県の平均を1.1ポイント下回っている。	・言葉の意味を丁寧に教え、場面に合わせて知識を活用できるようにする。
「生命」を柱とする領域	○平均正答率は、県や市とほぼ同程度である。 ○昆虫とダンゴムシの体のつくりの違いを答える問題では県の平均を9.9ポイント上回っており、正しく記述できている児童が多かった。 ●虫眼鏡の正しい使い方を選ぶ問題の正答率は、県や市の平均をやや下回っている。	・実際に採集したり飼育したりして実物と触れ合うことを大切にしながら体験的に学ぶ機会を増やし、児童の知識や理解を深めていく。
「地球」を柱とする領域	○平均正答率は、県の平均をやや下回っている。 ○太陽が動く方位を答える問題の正答率は、県の平均を6.1ポイント上回っている。 ●方位磁針の正しい使い方を選ぶ問題の正答率は26.7%で、県の平均を17ポイント下回っている。	・太陽の動きや影の向きについては、実体験を大切に、事実と理由を結び付けて理解できるようにする。 ・実験器具の使い方については、正しい使い方をきちんと習得できるよう、手に入る機会を増やしていく。

宇都宮市立陽東小学校 第4学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○(12)「1か月に、何さつくらい本を読みますか」において、5冊以上と回答した割合が、本校は61.3%であり、県全体の47.5%を13.8ポイント上回っている。校内図書室の利用冊数も、他の学年に比べて高く、読書への関心が高い。

○(19)「本やインターネットなどを利用して、勉強に関するじょうほうを得ている」における本校の肯定的な回答割合は81.3%であり、県全体の64.3%を17ポイント上回っている。総合的な学習の時間の調べ学習だけでなく、社会や理科などの授業の中で、本やインターネットで得た知識を学習と結び付けて課題解決に役立てている場面が多い。

○(22)「学習して身に付けたことは、しょう来の仕事や生活の中で役に立つと思う」における本校の肯定的な回答割合は、100%であり、4学年児童全員が、学習の重要性について理解していることが分かる。そのため、授業や単元テストにおいて、前向きに学習に取り組める児童が多い。

○(26)「授業では、自分の考えを発表する機会があたえられている」における本校の肯定的な回答割合は88%であり、県全体の79.5%を8.5ポイント上回っている。また、(27)「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」における本校の肯定的な回答割合は、96%であり、県全体の89.1%を6.9ポイント上回っている。日頃より児童のつぶやきや発言を活性化させ、児童同士の考えを結び付けながら授業を進めることを意識している結果だと考えられる。

●(2)「家で、学校の宿題をしている」における本校の肯定的な回答割合は76%であり、県全体の82.1%より6.1ポイント低い。家庭での学習習慣付けとしても、基礎学力の定着においても、宿題は重要だと考える。家庭への啓発を行ったり、学習状況に応じた宿題を出したりしたい。

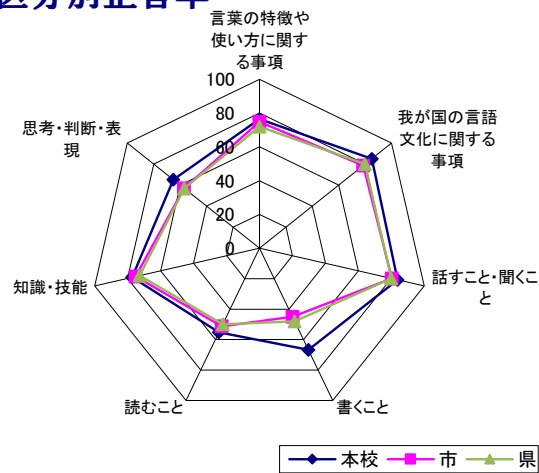
●(41)「自分はクラスの人の役に立っていると思う」における本校の肯定的な回答割合は53.4%であり、県全体の68.2%より14.8ポイント低い。当番活動や係活動について、定期的に児童と振り返りや見直しを行い、誰もが学級の一員として大切な存在となっていることを意識させたい。また、道徳の時間において、集団生活に関する内容を丁寧に扱っていききたい。

●(54)「自分の行動や発言に自信をもっている。」における本校の肯定的な回答割合は、56%であり、県全体の68.1%より12.1ポイント低い。特に、「いいえ」と答えた割合が14.7ポイントと高い。自己肯定感や自己有用感が向上するように、お互いを認め合えるグループエンカウンターを意識的に取り入れるようにしていきたい。

宇都宮市立陽東小学校 第5学年【国語】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	言葉の特徴や使い方に関する事項	76.5	74.8	72.0
	我が国の言語文化に関する事項	85.0	78.6	79.9
	話すこと・聞くこと	83.8	80.4	80.0
	書くこと	66.7	45.1	48.0
	読むこと	55.2	51.3	50.0
観点	知識・技能	77.3	75.2	72.8
	思考・判断・表現	65.2	57.0	57.0



★指導の工夫と改善

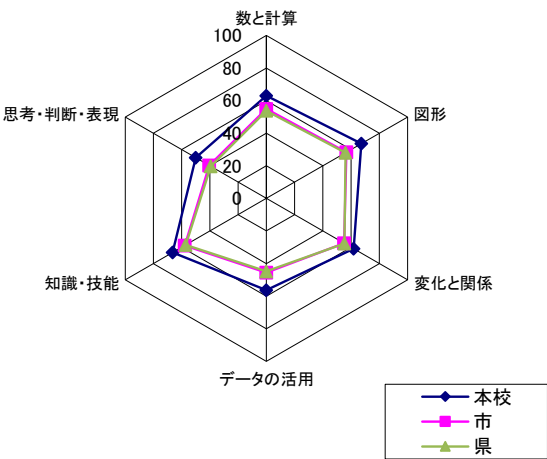
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
言葉の特徴や使い方に関する事項	○平均正答率は、県・市の正答率をやや上回っている。 ○既習漢字を正しく読んだり、熟語の組み合わせを理解して意味を捉えたりする問題では、いずれも90%以上の児童が正答しており、定着が図られていることが分かる。 ●修飾語を選択する問題では、指定された語が修飾している言葉を聞かれているにも関わらず、その語を修飾している語を選択している児童が65%いた。	・日常的に既習漢字を使い、正しく読んだり書いたりする指導を継続する。 ・文章を推敲する際に、修飾語を使用して様子等を詳しく記述するよう声掛けをし、修飾語・被修飾語の関係を意識できる場面を増やしていく。
情報の扱い方に関する事項	本年度は出題なし	
我が国の言語文化に関する事項	○平均正答率は、県・市の正答率を5ポイント以上上回っている。 ○慣用句の意味を理解し、意味の通る文章に用いる問題では、85%の児童が正答した。	・学校図書館の資料や宮っ子ダイアリーのことわざコーナーなどを活用し、学校生活の中で、日常的に慣用句やことわざにふれる機会を増やしていく。
話すこと・聞くこと	○平均正答率は、県・市の正答率を約3ポイントやや上回っている。 ○参加者の発言を基に考えをまとめる問題では、県・市の正答率を10ポイント以上上回った。 ●話し手の工夫を捉える問題では、県・市の正答率をやや下回った。	・友達の話を最後まで聞いたり、友達の発言をつないで話したりすることができるよう、話し合い活動の聞き取りをより充実させていく。
書くこと	○平均正答率は、県・市の平均を20ポイント近く上回っている。 ○2段落構成や字数制限、事実と考えを取り入れて書くという複数の条件がある中で、正答率がいずれも県・市より20ポイント程度上回っている。 ●平均正答率は66.7%であり、正答率が高いとは言えない。	・主語や述語、接続詞を大切にする指導を続け、自分の考えを友達に分かりやすく記述させるような学習活動を行っていく。その際、事実と考えを分けて記述させるなど、構成も意識して書くことができるようにさせたい。
読むこと	○平均正答率は、県・市の正答率を4ポイント程度上回っている。 ○説明文で叙述を基に文章の内容を捉える問題では、県・市の正答率を14ポイント以上上回った。 ●登場人物の性格を正しく説明した文を選択する問題では、人物を取り違えた回答が正答と同程度見られた。 ●登場人物の気持ちの変化を問われた問題は、正答率が38.3%で、高いとは言えない。	・朝の読書や学校図書館を活用することで、読書習慣を身に付けるとともに、登場人物の気持ちを表す語や文を見つけたり、それを基に気持ちを考えたりする学習を継続して行っていく。

宇都宮市立陽東小学校 第5学年【算数】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	数と計算	63.0	54.9	53.7
	図形	67.2	56.6	56.1
	変化と関係	61.7	55.1	55.2
	データの活用	56.3	45.5	44.8
観点	知識・技能	66.5	57.8	57.2
	思考・判断・表現	50.0	40.6	39.5



★指導の工夫と改善

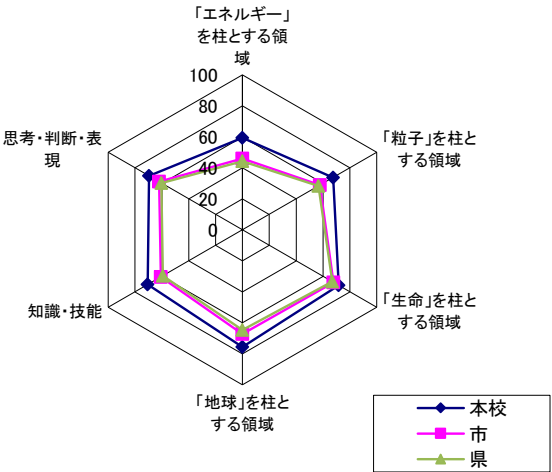
○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の重点
数と計算	○平均正答率は、県・市の平均を8～9ポイント程度上回っている。 ○数直線上の目盛りが示す分数を読み取り、仮分数で表す問題や小数第一位÷整数の計算問題では、県の平均を20ポイント以上上回っている。 ○●除法の性質を理解し、計算の工夫について説明する記述問題では、市・県の平均を11ポイント以上上回っているが、正答率は31.7%であり、また無回答率も23.3%であった。 ●大きな数の表し方について正しいものを選択する問題では、市・県の平均を2ポイント程度下回っている。	・位取りについて苦手意識がある児童に対し、改めて復習の機会を作り、知識の定着を図る。 ・説明をする問題では、教科書で使った言葉が多用されることから、普段の授業でも意識的に教科書の語句を使って説明させる機会を設ける。
図形	○平均正答率は、県・市の平均を10ポイント程度上回っている。 ○平行四辺形の作図問題では、県の平均を17.6ポイント上回っている。 ○180度より大きい角の大きさを求める問題では、県の平均を17.8ポイント上回っている。 ○●三角定規の角度を理解しているかどうかをみる問題では、市・県の平均を8ポイント程度上回っているが、正答率は56.7%であった。	・作図については今後も必要な技能となるので、反復練習を行い、技能の定着を図る。 ・図形をノートに描いていく作業だけでなく、実際にパネル等を準備し、目の前で自分で操作する経験を積むことで、角度や長さの感覚を養えるようにする。
変化と関係	○平均正答率は、県・市の平均を6ポイント程度上回っている。 ○伴って変わる2つの数量の関係を表を縦に見ることで式に表す問題では、県の平均を8.9ポイント上回っている。 ○●比べ方について、差を用いる場面と割合を用いる場面について説明することができるかをみる問題では、県の平均を15.6ポイント上回っているが、正答率は45%であった。 ●伴って変わる2つの数量の関係を読み取る問題では、県の平均を2.1ポイント下回っている。	・伴って変わる2つの数量の関係を表した表の読み取り方を多面的に捉えさせ、考えたことを自分で説明させることで、論理的な思考力を養う。 ・割合に関しての知識を改めて授業内で復習し、割合で表すことのよさを感じさせながら適切に使い分けができるようにする。
データの活用	○平均正答率は、県・市の平均を10～11ポイント程度上回っている。 ○折れ線グラフと棒グラフの複合グラフから必要なことを読み取る問題では、県の平均を18.5ポイント上回っている。 ○●グラフから正しく変化の様子を読み取る記述問題では、県の平均を11.2ポイント上回っているが、正答率は20%であり、また、無回答率は35%であった。	・目盛りの読み方などを再確認する時間を設け、読み取りのミスが防げるよう指導する。 ・他教科でもグラフの読み取りは多く見られるので、関連付けながら指導を進め、より深い学びへとつなげていく。

宇都宮市立陽東小学校 第5学年【理科】分類・区分別正答率

★本年度の県、市と本校の状況

分類	区分	本年度		
		本校	市	県
領域等	「エネルギー」を柱とする領域	59.4	46.0	44.3
	「粒子」を柱とする領域	67.5	57.7	56.6
	「生命」を柱とする領域	71.7	67.8	66.9
	「地球」を柱とする領域	75.6	67.2	64.6
観点	知識・技能	70.6	60.8	59.2
	思考・判断・表現	69.5	62.1	60.4



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

分類・区分	本年度の状況	今後の指導の改善
「エネルギー」を柱とする領域	○平均正答率は、県の平均を15.1ポイント上回っており、すべての問題で県の平均を6ポイント以上上回っている。 ○電流の向きや大きさの問題では、簡易検流計の針のふれ方から分かる事を答える問題で、県の平均を29.8ポイント上回っている。	・実験機器の使い方や結果の読み取り、そこから分かることを確実に理解できるようにするために、今後も体験的な学びを充実させる。 ・実験や考察を一つ一つ丁寧に言い、児童が理解できるように努めていく。
「粒子」を柱とする領域	○平均正答率は、県の平均を10.9ポイント上回っている。 ○もののあたたまり方問題では、金属の体積変化について身近な出来事と関連付けて答える問題で、県の平均を17.9ポイント上回っている。 ●閉じ込めた空気の性質について、手ごたえの変化を答える問題では、市の平均を4.1ポイント下回っている。	・実験を大切にしつつも、それが楽しいだけの体験にならないように、予想を立てたり結果と考察をきちんと結び付けて押さえたりすることで、なぜそうなるのかという理由をしっかりと理解できるようにする。
「生命」を柱とする領域	○平均正答率は、県の平均を4.8ポイント上回っている。 ○夏の植物の成長について、のびを正しく表したグラフを選ぶ問題の正答率が93.3%で、県の平均を12.8ポイント上回っている。 ●季節の順に並べたイチゴの記録を選ぶ問題の正答率が33.3%で、県の平均を3.9ポイント下回った。	・普段馴染みのない植物に関しても知識として身に付け、日常生活の中で意識的に取り上げながら、それらの知識を生かせるようにしたい。
「地球」を柱とする領域	○平均正答率は、県の平均を11ポイント上回っている。 ○気温の正しい測り方を答える問題の正答率は86.7%で、県の平均を26.4ポイント上回っている。 ●星の色を問う問題では県や市の正答率とほぼ同程度であったが、6割弱の正答率だった。	・普段から自然との関わりを意識させるようにし、自然現象や科学的現象について、言葉と結び付けて理解できるようにする。 ・天体を扱う問題では、動画等を活用しながら、今後も天体をイメージしやすくなるような授業を心掛ける。

宇都宮市立陽東小学校 第5学年 児童質問調査

★傾向と今後の指導上の工夫

○良好な状況が見られるもの ●課題が見られるもの

○学校での学習の様子について、「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」「授業では、自分の考えを発表する機会が与えられている」「話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりすることができている」の肯定的な回答の割合が、県の平均を上回っている。授業の中で、児童が積極的に友達と話し合う活動に取り組み、友達と学び合うことを通して、充実した学習活動が行われていると言える。

○学校での生活の様子について、「学校のきまりを守っている」の肯定的な回答が100%であり、規範意識がしっかり身に付いていると言える。また、「自分はクラスの人の役に立っていると思う」の肯定的な回答が、県の平均より高かった。クラスに自分の居場所があり、存在意義を感じながら生活している児童が多いと言える。

○自分自身のことについて、「自分にはよいところがあると思う」の肯定的な回答が90.5%で、県の平均を8.4ポイント上回っている。また、「自分のよさを人のために生かしたいと思う」は95.2%、「自分も持っている能力を十分に発揮したい」は93.7%、「将来の夢や目標をもっている」は92.1%と、肯定割合が高い。自己肯定感が高く、自分に自信をもって前向きに考えていることが伺える。

●家庭での学習について、「自分で計画を立てて勉強をしている」「授業の復習をしている」「テストでまちがえた問題について勉強している」「決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」「だいたい同じ時刻に取り組むようにしている」の肯定的な回答の割合が、県の平均を10ポイント以上下回っている。特に、「授業の復習をしている」の肯定的な割合は、県の平均を21.7ポイントも下回っている。また、家で勉強する時間について、「平日1時間より少ない」と回答した児童が52.4%だった。家庭学習の仕方や内容、時間について指導していきたい。

●読書について、「学校の授業時間以外に、ふだん、1日当たりどれくらいの時間、読書を読みますか」の設問では、「10分以下」「全くしない」と回答した児童の割合が県の平均を上回っている。朝の学習の時間を使うなど、読書の時間を多く設けていきたい。

●テレビやDVD、動画、ゲーム、携帯電話やスマートフォンを使う時間については、平日に3時間以上と回答した児童が県の平均より多い。家庭での時間の使い方について、保護者と連携しながら指導していきたい。

●教科の学習について、国語、社会、理科において、「授業の内容はよくわかる」「好き」の肯定割合が、県の平均を下回っている。児童の学習への意欲を高めるような授業を工夫していきたい。

宇都宮市立陽東小学校（第4・5学年共通）
学力向上に向けた学校全体での取組

★学校全体で、重点を置いて取り組んでいること

重点的な取組	取組の具体的な内容	取組に関わる調査結果
・ペア学習やグループ学習を中心とした学び合い	・様々な授業の中で、ペア学習やグループ学習での学び合いの場を意図的に設定する。	・「グループなどでの話し合いに自分から進んで参加している」についての肯定割合は、4年生で県の平均とほぼ同程度だったが、5年生で3.8ポイント上回った。「授業では、クラスの友達との間で話し合う活動をよく行っている」についての肯定割合は、4年生で県の平均よりも6.9ポイント上回ったが、5年生でわずかに下回った。

★学校全体で、今後新たに重点を置いて取り組むこと

調査結果等に見られた課題	重点的な取組	取組の具体的な内容
・「家で、自分で計画を立てて勉強をしている」に肯定的に回答した児童の割合は、4年生は県の平均より2.6ポイント上回ったが、5年生では13.3ポイント下回った。「家で学校やじゅく決められた宿題のほかに自分で考えた勉強をしている」についての肯定割合は、4年生では県の平均とほぼ同程度だったが、5年生で16.2ポイント下回った。	・家庭学習の充実と習慣化に向けた取組を行う。	・3～6年生では宿題のほかに自主学習ノートを利用した学習に取り組ませ、定期的に提出するよう引き続き指導する。 ・取組の具体例を示しながら、学年に応じたやり方を指導する。